

公益社団法人地盤工学会 平成 22 年度 第 4 回総務部会  
議 事 録

日 時：平成 23 年 2 月 10 日（木）15:30～17:30	場 所：学会 3 階会議室
出席者：風間 基樹 部 長	村上 章 副会長 ×
西江 俊作 理 事	奥野 哲夫 理 事
木村 亮 理 事	一戸 敏也 部 員
田中 耕一 部 員	宮田 喜壽 部 員
八塩 晶子 部 員 ×	事務局：戸塚 弘 ×
事務局：浅野 有三	事務局：松本 雅樹

（議事録担当者： 田中 部員）

（ :出席、×：欠席）

議 題：

【報告事項】

1. 経理関係報告 〔別紙 - 1〕 p. 1、〔別添資料-1〕
  - ・経理関係の報告は、西江理事より、審議事項「平成 22 年度決算見込み」と合わせて報告された。
2. 広報関連報告
  - ・広報関連の報告が奥野理事より行われた。前回の総務部会でも出された意見は、2月4日の広報WGでメンバーに周知した。HP 不具合の改善や英文 HP 改訂などの課題は4つのWGで検討中との報告がなされた。
3. その他
  - ・特になし。

【審議事項】

1. 平成 22 年度決算見込み 〔別紙 - 16〕 p. 121、〔別添資料 - 2〕
  - ・西江理事より、平成 22 年度の決算見込みに関して説明があった。経常収益は、予算に対し 1700 万円不足である。その内容は、会費 300 万円、事業収益が 1400 万円予算に対し不足している（不足が大きいのが DVD 販売 500 万円、講習会 600 万円）。経常費用は、ほぼ予算どおりである。正味財産の増減は、1000 万円の減で、今後、事業収益の増と、支出の減を各部にお願いする予定である等が報告され、承認された。
2. 平成 23 年度事業計画まえばん及び本文（本部関係） 〔別紙 - 2〕 pp. 2-12
  - ・木村理事担当は、2月14日に事務局に提出する。
3. 平成 22 年度本部事業報告まえばん案作成依頼 〔別紙 - 3〕 pp. 13-22
  - ・風間部長（総務部全般）、西江理事（経理関係）、奥野理事（広報関係）に関する事業報告を3月10日までに作成し事務局に提出することとなった。
4. 平成 22 年度支部事業報告・決算報告の提出依頼 〔別紙 - 4〕 pp. 23-25
  - ・各支部に対する依頼文が審議され承認された。
5. 平成 22 年度臨時総会（H23.1.14）関連報告（地盤工学会誌 4 月号）
  - 1) 記念講演会誌報告（報告者 木村理事）
    - ・木村理事担当は、2月14日までに事務局に提出する。
  - 2) 臨時総会誌報告 〔別紙 - 5〕 pp. 26-46
    - ・臨時総会の内容確認は、風間部長が担当し、事務局へ連絡することとなった。
6. Elsevier 社からの S & F オンラインジャーナル化に関する提案 〔別紙 - 6〕 pp. 47-68、〔別添資料 - 4〕
  - ・S&F のオンラインジャーナル化に関し、エルゼビア ジャパン社（本社オランダ）の担当者より説明があった。エルゼビア社の編集システム（EES）を利用し、論文投稿から査読までを含め、S&F を完全な電子図書とする提案である。年間契約料は、S&F が年間 6 回発行、合計 1000 ページとして、\$ 90000（日本円建てだと 810 万円）ESS を利用しない場合は \$ 87500（787 万円）となる（1 ページ増加で \$ 50 別途請求）。契約は 3 年間とし、年間 2 回で契約料を支払う。S&F の所有権・著作権などはすべて地盤工学会が保持する。論文の抜き刷りなどの売上金の還元方法や、ジャーナルの冊子を作成する必要があるかどうか、冊子をエルゼビアで作成するかどうかについては今後相談が必要である。また、契約後、電子図書刊行までのスケジュール

としては、半年間の準備期間で対応可能である。上記のような説明がなされた。

上記の説明を受けて、下記の審議が行われ継続審議とすることとなった。

\*エルゼビア社に依頼した場合、年間で150万円程度増加するが、平成24年1月からの導入とすると平成23年度の予算については、ほぼ同額である。ただし、学会内部で検討すべき事項も多い。

\*当初懸念されていた、次年度予算に対する影響はあまり大きくなく、来年度予算は従来の方で予算化する。よって、本件は継続審議とする。

\*学会内部での検討事項として、S&Fの冊子の要否、海外からの購読料送金方法などの検討も必要である。

7. 東北支部 支部規程の変更 〔別紙 - 7〕 pp. 69-70

・支部地域会に関する記述が追記された。承認された。

8. 理事会(2月)での共通討議事項の件

1) 学会職員体制のあり方 〔別紙 - 8〕 pp. 71-73

・公益社団法人になったことを受け、事務作業や会員等へのサービスの更なる向上のため、課制を廃し4グループ制とする、簡素で効率的な事務局体制を構築する案が提出された。

次の意見が出され、これらの意見をまとめて、2/24理事会に提案することにした。理事会で方向が決まれば、事務局長、次長、グループリーダーで具体的な内容を詰め、3/11総務部会で職員に説明することとした。

\*主と従の組合せを変えてはどうか。総務・財務Gと技術推進G、公益出版Gと調査研究・基準G。

\*主と従で責任の所在をはっきりさせる。従は、どのように関わるか。

\*課制から変わって懸念されることはないか。

\*グループリーダーとサブリーダーだけを決めて、それ以外はばらばらに配置する。ただし、新人には教育係をつける。

\*主と従のグループ間を区切る太線は、点線くらいにして、垣根を低くしてはどうか。

\*従担当Gの職員が主担当者になってもよい。

9. その他

1) WEC2015 準備状況と参加のお願いについて(依頼) 〔別紙 - 9〕 pp. 74-79

・本件に関しては、正副会長会議にて方針を決定することとした。

2) 科学技術人材育成コンソーシアムからの「正会員」入会依頼 〔別紙 - 10〕 pp. 80-98

・本件に関しても、正副会長会議にて方針を決定することとした。

3) 共催・後援・協賛等の依頼【 ~ は総務部長の承認済】 〔別紙 - 11〕 pp. 99-104

「第5回シンポジウム:統合化地下構造データベースの構築」の共催 主催:防災科学技術研究所 H23.3.10

「第11回GSCシンポジウム」の後援 主催:GSCネットワーク H23.6.23

4) HP、メールニュース等による会員への周知【 ~ は総務部長の承認済】 〔別紙 - 12〕 pp. 105-108

「第17回地質調査総合センターシンポジウム「地質地盤情報の法整備を目指して」」の開催案内

平成23年2月28日開催 (独)産業技術総合研究所よりの依頼

「運輸分野における基礎的研究推進制度 平成23年度研究課題」の公募(公募締切日:23.4.4)

(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(企画調査部基礎研究課)よりの依頼

「東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 基礎構造材料学講座」教員の公募(公募締切日:23.4.25)

東北大学大学院工学研究科土木工学専攻(地盤工学分野)風間基樹氏よりの依頼

5) 各部からの2/24(木)理事会提出議題の確認 〔別紙 - 13〕 pp. 109-110

・現状では、まだ議題が出てきていない。

6) 議事録の確認

1/19 総務部会 〔別紙 - 14〕 pp. 111-112

・承認された。

1/28 理事会 〔別紙 - 15〕 pp. 113-120

・承認された。

7) 次回の総務部会、理事会等の開催期日の確認

正副会長会議	2/24(木)	13:00～14:00
理事会	2/24(木)	14:30～16:30
表彰委員会幹事会	2/24(木)	16:30～18:30
表彰委員会	3/11(金)	12:30～14:30
総務部役員会	3/11(金)	14:30～15:30
総務部会	3/11(金)	15:30～17:30
正副会長会議	3/18(金)	13:00～14:00
理事会	3/18(金)	14:30～16:30

8) 総務部からの2/24 理事会提出議題の確認

審議事項：平成22年度決算見込み、平成23年度事業計画まえばん及び本文（本部関係）、平成23年度役員構成案、東北支部 支部規程の変更

報告事項：経理関係報告、広報関連報告、平成22年度本部事業報告まえばん案作成依頼、平成22年度支部事業報告・決算報告の提出依頼、平成22年度臨時総会関連報告（記念講演会誌報告、臨時総会誌報告）、共催・後援・協賛等の依頼、HP・メールニュース等による会員への周知

注) Elsevier 社からのS & F オンラインジャーナル化に関する提案に関する件は、会誌部会からの審議事項として取り扱う。

以上